

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2003-160735 (P2003-160735A)
 【公開日】平成 15 年 6 月 6 日 (2003.6.6)
 【出願番号】特願 2002-260024 (P2002-260024)
 【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 L 101/00
 C 0 8 K 3/00
 //(C 0 8 L 101/00
 C 0 8 L 23:08)

【F I】
 C 0 8 L 101/00
 C 0 8 K 3/00
 C 0 8 L 101/00
 C 0 8 L 23:08

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 7 月 25 日 (2005.7.25)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ゲルパーミエーションクロマトグラフィーによって測定されるポリスチレン換算の重量平均分子量が 30 万以上であるエラストマー (A) を 50 ~ 95 質量部、融点が 110 以下であるエチレン共重合体 (B) を 50 ~ 5 質量部 (但し、エラストマー (A) + エチレン共重合体 (B) を 100 質量部とする)、およびフィラー (C) を (A) + (B) の合計 100 質量部に対して 100 ~ 2000 質量部含むことを特徴とする樹脂組成物。

【請求項 2】

エラストマー (A) がイソブチレンをモノマー単位として有するエラストマーである請求項 1 に記載の樹脂組成物。

【請求項 3】

エラストマー (A) がポリイソブチレンである請求項 2 に記載の樹脂組成物。

【請求項 4】

ポリイソブチレンのポリスチレン換算の重量平均分子量が 100 万以上である請求項 3 に記載の樹脂組成物。

【請求項 5】

エチレン共重合体 (B) が、エチレン - ビニルエステル共重合体、エチレン - アクリル酸エステル共重合体およびエチレン - メタクリル酸エステル共重合体からなる群から選ばれる少なくとも一つである 請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の樹脂組成物。

【請求項 6】

エチレン共重合体 (B) が、エチレン - 酢酸ビニル共重合体、エチレン - アクリル酸メチル共重合体、エチレン - アクリル酸エチル共重合体およびエチレン - メタクリル酸メチル共重合体からなる群から選ばれる少なくとも一つである 請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の樹脂組成物。

【請求項 7】

エチレン共重合体（Ｂ）の融点が８０ 以上１０５ 以下である請求項５または６に記載の樹脂組成物。

【請求項８】

フィラー（Ｃ）が磁性粉末である請求項１～７のいずれか１項に記載の樹脂組成物。

【請求項９】

請求項１～８のいずれか１項に記載の樹脂組成物の成形体。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

〔５〕エチレン共重合体（Ｂ）が、エチレン－ビニルエステル共重合体、エチレン－アクリル酸エステル共重合体およびエチレン－メタクリル酸エステル共重合体からなる群から選ばれる少なくとも一つである上記〔１〕～〔４〕のいずれか１項に記載の樹脂組成物。

〔６〕エチレン共重合体（Ｂ）が、エチレン－酢酸ビニル共重合体、エチレン－アクリル酸メチル共重合体、エチレン－アクリル酸エチル共重合体およびエチレン－メタクリル酸メチル共重合体からなる群から選ばれる少なくとも一つである上記〔１〕～〔４〕のいずれか１項に記載の樹脂組成物。

〔７〕エチレン共重合体（Ｂ）の融点が８０ 以上１０５ 以下である上記〔５〕または〔６〕に記載の樹脂組成物。

〔８〕フィラー（Ｃ）が磁性粉末である上記〔１〕～〔７〕のいずれか１項に記載の樹脂組成物。

〔９〕上記〔１〕～〔８〕のいずれか１項に記載の樹脂組成物の成形体。

—